

明海大学

不動産学部



Faculty of Real Estate Sciences

要保管

授業・行事など、年間を通しての大切なお知らせです。1年間大事に保管してください。

オリエンテーション 資料

2020

4 年生



学籍番号：

名前：

2020 年度 4 年生オリエンテーション資料 目次

1. 出席及び教室運営ガイドライン (宅間先生)	1
2. コース変更手続きについて (3・4 年生) (浜島先生)	2
3. 2020 年度 オフィスアワー 前期	3
4. 不動産学部行事等年間スケジュール (2020 年度) ※今後変更の可能性有	4
5. 不動産取引演習B再履修 (必修科目) (中村先生)	5
6. 不動産法入門 テキストの入手方法について(再履修クラス) (浜島先生)	6
7. 2020 年度不動産情報処理演習 事前希望登録について (斎藤先生)	7
8. 「デザインの基礎演習」各自で用意する製図用品について (前島先生)	9
9. 3 年次配当の必修科目の履修上の注意 (兼重先生)	10
2016 年度以降の入学生	10
2015 年度までの入学生	10
10. 不動産学研究 (ゼミ) の履修登録と二次募集について (浜島先生)	11
11. 不動産学卒業演習について (前島先生)	12
12. 2020 年度「卒業論文」 (浜島先生)	13
13. 不動産学部の宅建合格支援プログラム (中村先生)	14
14. スチューデントルーム (中村先生)	15
15. 建築士試験受験のための指定科目の履修上の注意 (前島先生)	16
16. 不動産特別講義 I (周藤先生)	20
17. 不動産特別講義 II (竹迫先生)	21
18. 海外短期研修制度の案内 (周藤先生・表先生)	22
19. 就職関係のお知らせ (新 4 年生へ) (山本先生)	24
20. インターンシップについて (前島先生)	25
21. 2021 年度 不動産学研究科 (博士前期課程) 学内推薦応募要綱 (斎藤先生)	26
22. 資格外労働の注意 (山本先生)	27
試験の厳格化について (説明のみ)	

出席及び教室運営ガイドライン (宅間先生)

1. 出席

- ① 出席とは、各時限の開始から終了まで参加することであるが、教員や学生の移動及び最初の講義準備時間などの現実的与件を配慮して、各時限の開始から 10 分以内に入室した場合は出席として扱う。
- ② 10 分以降に入室した場合は、遅刻とし出席の半分としてカウントする。
- ③ 浦安キャンパスガイドラインに定められ、履修の手引きにより学生に周知されている 5 分 4 以上の出席条件は、あくまでも定期試験受験資格の条件であり、5 分 1 まで欠席しても良いという条件ではない。

2. 授業時間中の教室運営

- ① 私語などのように講義の円滑な進行や学生の聴講を妨げる行為を禁止する。
- ② 飲食は禁止する。ただし、体調管理のための水分補給については個別に対応する。
- ③ 授業の内容上必要とされる電子機器を除き、携帯電話、その他電子機器の授業に関わらない目的での使用を禁止する。講義内容の理解のための一時的な電子機器の使用に関しては個別に対応する。
- ④ トイレなどの理由で一時退室を希望する場合は、学生証と携帯を教員に預けてから一時退室を認めることを原則とする。授業の流れやプライバシーへの配慮など、状況に応じた判断は担当教員に委ねる。

以上

※ ただし、上記ガイドラインは通常の「対面授業」の場合を想定している。

【新型コロナ対応版】

2020年4月 不動産学部

担当教員 浜島

2年次に所属したコースは、原則として卒業まで変更することはできません。特別の事情がある場合に限って、本人の申し出により変更を認めることがあります（履修の手引参照）。

2020年度からコースの変更を希望する者は、次の通り手続きを行ってください。

①対象学生

2020年度の3年生・4年生

②手続き方法

コース変更願（所定様式）をダウンロードし、必要事項を記入の上、浜島
(hiromiy@meikai.ac.jp)にメールで提出してください。

③手続き期間等

4月27日(月)から 履修登録期間中(予定)まで

④変更許可・不許可の発表

コース変更願の送信元メールアドレスへ、随時お知らせします。

⑤変更に関しての相談

コースの変更を希望する際、事前に学習方針等をコース担当教員または所属ゼミの教員と相談するようにしてください。相談は、メールや電話で行ってください。コース担当教員は以下の通りです。

ビジネス	宅間先生、浜島先生、山本先生
ファイナンス	小松先生、原野先生
デザイン	前島先生、小杉先生、斎藤先生

⑥その他

コース変更が許可された場合、2020年度の履修登録は変更後のコースで行うことになります。（不許可の場合は従来コースで行う。）

以 上



2020 年度 オフィスアワー 前期

	月	火	水	木	金
1			劉 4814		
2	小松 4604		中城 4502	原野 4515	小川 4701
	山本 4612 主任		周藤 4511 就	浜島 4810	
	前島 4608		竹迫（宅建） ※スチューデントルーム	中村（宅建） ※スチューデントルーム	
昼 休 み	杉浦 共同研究室	杉浦 共同研究室	杉浦 共同研究室	杉浦 共同研究室	すとう 周藤 共同研究室
3	石川（宅建） ※スチューデントルーム		杉浦 4808	よろず 相談	兼重 4601
	表 4606		宅間 4610		竹迫（宅建） ※スチューデントルーム
4	藤木 4513				石川（宅建） ※スチューデントルーム
	小杉 4616				※新型コロナの影響により、当面の間、スチューデントルームによる指導は行いません。
5		齋藤 4816		塚原 4701 製図室	
		中村 4514 資格/宅建			

記号の見方

ビ・・・ビジネスコース長 フ・・・ファイナンスコース長 デ・・・デザインコース長
 資・・・宅建、その他資格支援 就・・・就職支援担当 学生・・・学生支援担当
 主任・・・学科主任 宅建・・・宅建指導担当

「よろず相談」・・・皆さんの学修・学生生活に関する相談について、何でも気軽に応じます。

※何か困ったことがありましたら、担当する教員のオフィスアワーを訪ねてみましょう！

※スチューデントルームでの指導は、新型コロナウイルスの状況をみて実施します。

不動産学部行事等年間スケジュール（2020 年度） **※今後変更の可能性有**

		1 年	2 年	3 年	4 年
前期	4 月				卒業論文計画書
	5 月	海外研修（ケンブリッジ・韓国）参加者募集			
		夏季インターンシップ募集			
	6 月				
	7 月	[宅 建] 試験願書受付期間			
	8 月				
	9 月	夏季インターンシップ			
後期		海外研修（ケンブリッジ・韓国）			
	9 月				
	10 月	10/18(日) [宅 建] 本 試 験			
	11 月		3 年次ゼミ募集期間		
		春季インターンシップ募集			
	12 月	専門主専攻 コース 希望調査期間			
	1 月	所属コース発表			卒業論文発表会
	2 月			学内企業セミナー	
	3 月	春季インターンシップ			

注：詳細な日程は、学部ホームページ、掲示、案内などの配布物で確認してください。

◎講義内容

本講義は、不動産取引に関する基礎知識を講義します。みなさんは4年間で様々な視点から不動産を学びますが、本講義では、不動産を取り巻くルールについて、取引の具体的事例を通して学びます。

権利関係（民法、借地借家法、建物区分所有法、不動産登記法）の他、不動産関連法規、実務的知識に関する講義を行います

◎講義目標

- ・法律に関する基礎的な用語を学び、その意味を理解することができる。
- ・実際の不動産取引の場面に応じてどのようなルールが使われているかを理解することができる。
- ・宅地建物取引士資格試験の教科書を読んでその内容を理解することができる。
- ・宅地建物取引士資格試験の正解を導き出すことができる。

◎必修科目

必修科目です。取引演習Bの単位を取得していない学生は必ず受講してください。

単位の付与は、宅地建物取引士資格試験を受験した上で、解答を再現することを前提とします。

◎卒業要件

- ・「不動産取引演習B（4単位）」の単位を修得しないと、卒業することができません。

◎単位を修得するために

単位を修得するためには、必ず毎回授業に出席することが最低限必要です。

病気などのやむを得ない事情で欠席する場合には、必ず事前あるいは事後に担当の先生に連絡をしてください。

◎教科書について

- ・教科書 スッキリわかる宅建士 2020年版（TAC出版）
- ・問題集 スッキリとける宅建士 2020年版（TAC出版）

明海ショップや書店で必ず購入して予習、復習してください。

（大きな法律改正があったため、必ず2020年度版を購入して勉強してください）。

以上

不動産法入門 テキストの入手方法について(再履修クラス) (浜島先生)

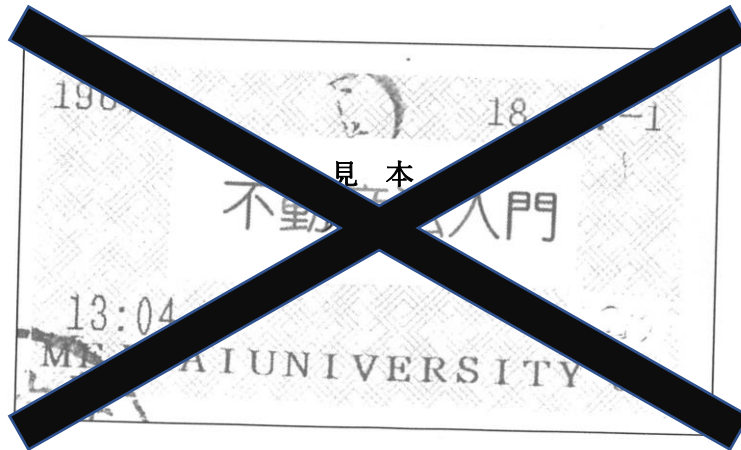
- ・ 「不動産法入門」は、1年生前期必修の授業です。
- ・ 再履修学生は、後期に開講される再履修クラスで履修してください。

~~初回の授業までに、証紙販売機で「不動産法入門テキスト」の証紙を買い、証紙の表に~~

~~ボールペンで学籍番号と氏名を記入して、教室に行ってください。教室で証紙とテキストを引き換えます。~~

~~それ以降は、共同研究室で証紙とテキストを引き換えます。~~

証紙サンプル



~~表に学籍番号と氏名を記入して下さい。~~

※今年度は、新型コロナウイルスの影響により、この授業のテキストは販売いたしません。PDF ファイルによる配布を予定しております。ご注意ください。

2020 年度不動産情報処理演習 事前希望登録について (斎藤先生)

「不動産情報処理演習」は複数の時間割、担当で授業が行われます。
受講に当たって、事前に学年、クラス分け、コースに基づく受講の時間割の指定はありません。
情報処理演習室での授業であるため、各クラスに定員があります。定員の超過を防ぐため、以下の指示に従って受講の許可を受け履修登録をしてください。
なお、前学期は、遠隔授業のみになる可能性が高く、遠隔学習用のパソコンやタブレット端末があり、エクセルを使うことができないと受講が困難です。またタブレットで利用できるエクセルはパソコンとは操作が異なる点が多いです。パソコンで受けたほうが分かりやすいです。
下記 QR コードを開き、「不動産情報処理基礎演習の事前希望登録」のアンケートに希望する受講クラスを記入し、送信してください。期限厳守です。



<https://forms.gle/vxXg312q2RKRbKva7>

回答期限：5月15日(金)まで

希望を考慮してクラス分けを行います。事前希望登録の通りに履修が認められるとは限りません。

5月19日(火)にクラス分けの結果を不動産学部ホームページに掲載します。

上記の掲示にしたがって、必要な場合には、履修登録の修正期間中に履修登録を修正してください。後期の授業についても、この日に掲載します。

[注意]

！アンケートでは、パソコン、タブレットの有無は問いません。クラス分けにあたって考慮しませんが、前学期は、情報処理演習室での授業ができない可能性高く、パソコン、タブレットの無い人は単位の取得は困難であることをあらかじめ承知ください。後学期、情報処理演習室での対面授業ができなくなった場合の対処については別途指示します。

！事前希望登録は、履修登録とは別の手続きです。履修登録で、指定されたクラスを必ず登録してください。後期の分についても前期のうちに履修登録をしてください。

！希望するクラスの選択の際、他の受講すべき授業との重なりがないか、よく時間割を確認して、受講できないクラスを選ばないようにしてください。

この件について、質問がある場合は、csaito@meikai.ac.jp まで。

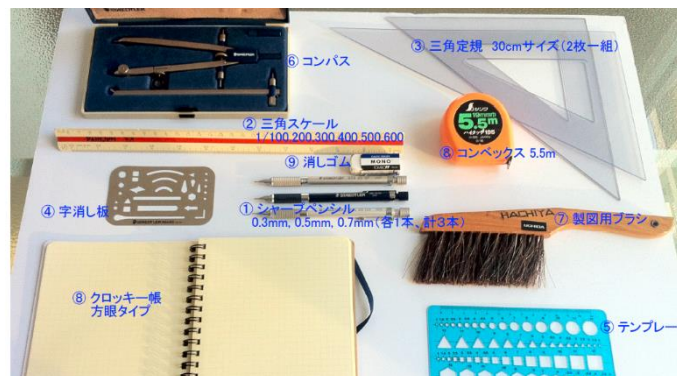
「デザインの基礎演習」各自で用意する製図用品について（前島先生）

「デザインの基礎演習」は、デザインコースの必修科目です。製図用品を用いて、図面を作成する実技の授業です。初回の授業までに、各自で製図用品を用意してください。用意できないなどの相談は、以下のアンケートからお願いいたします。

- ・ 平行定規:A2 サイズ平行定規の購入を検討してください(建築士試験でも使います)。購入が難しい場合は、小型簡易なものを貸し出します。
- ・ 製図用品：下図①～⑫を各自で用意してください。
 - 「レモン画翠」の通販サービスを利用（高品質、授業に合わせてセット販売しているので推奨）。
 - 家族・知人から譲り受ける。
- ・ 受講環境の確認、問い合わせ先として、以下のアンケートに早めに回答してください。
 - https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeH_KlghAajGExqHOQL6nxbCGwdm6DTemrGPgJdRDzmQeBpVQ/viewform?vc=0&c=0&w=1
- ・ 「レモン画翠」通販サービスは以下からアクセスできます。
 - https://drive.google.com/file/d/1rwXFtjZRfVfVunDZSv_NeHayXd3f6NHC/view
 - https://drive.google.com/file/d/1Rn-3rjrJKlwt8mwJg0LAiO0t_h6ikCZF/view

各自で用意する製図用品

- ① 製図用シャーペン（芯の太さ：0.3、0.5、0.7 ミリ、各 1 本）
- ② 三角スケール 30cm（1/100,200,300,400,500,600）
- ③ 三角定規 30cm サイズ（2 枚 1 組）
- ④ 字消し板
- ⑤ テンプレート
- ⑥ コンパス
- ⑦ 製図用ブラシ
- ⑧ クロッキー帳（方眼タイプ）
- ⑨ 消しゴム
- ⑩ コンベックス（5.5m）
- ⑪ 製図用テープ
- ⑫ 色鉛筆（24 色以上、長年使えるもの）



問合せ先:科目担当の塚原先生(tukahara@meikai.ac.jp) または前島(mae4@meikai.ac.jp)

3 年次配当の必修科目の履修上の注意 (兼重先生)

コースごと、入学年次ごとに必修科目が異なりますので、注意してください。3 年次の必修科目については 3 年生のうちに確実に履修、単位取得をすませてください。2 年次までの必修科目が未修得の場合には、今年中に必ず単位を修得しましょう。

2016 年度以降の入学生

ビジネスコース	不動産キャリアデザイン（3 年） 会社法（3 年）
ファイナンスコース	不動産金融論（3 年）
デザインコース	デザインの基礎演習（2 年）、住宅計画（2 年）、 住宅地計画実習（2 年）
全学生	不動産学研究（3 年通年） Basic English for Real Estate Business（3 年前期） Advanced English for Real Estate Business（3 年後期） ※英語については、クラス分けがあります。下記を参照。

<Basic English、Advanced English の受講上の注意>

◎新 4 年生で Basic English for Real Estate Business（前期）、Advanced English for Real Estate Business（後期）の再履修者は、必ず再履修クラスで受講すること。

2015 年度までの入学生

ビジネスコース	不動産キャリアデザイン（3 年） 不動産ビジネスゲーム演習（2 年）
ファイナンスコース	不動産金融論（3 年）

不動産学研究（ゼミ）の履修登録と二次募集について （浜島先生）

1. 『不動産学研究』（3年ゼミ）は、3年生の必修科目です。3年次に単位を取れなかった4年生も履修することができます。
2. 新型コロナウイルス感染症対策のため、2次募集は全てウェブ上で行っています。詳しくは学部HPを見てください。
3. ゼミの所属は、「ゼミ 2020 所属」の通りです。各自、履修登録をしてください。これと異なる登録は無効です。
4. 選考漏れ、志望なし、未応募の学生は、二次募集を行います。二次募集を行うゼミは、1. のファイルに記載されています。「ゼミ募集要項（追加補充版）」に各ゼミの内容が記載されていますから、それをよく見て、第1希望と第2希望のゼミを、「2020 ゼミ応募用紙__2次」に記入し、ゼミ担当の浜島にメールで送ってください。メールアドレスは、hiromiy@meikai.ac.jp です。
5. 二次募集の手続きは、5月1日までに行ってください。それ以降は受け付けません。
6. わからないことがあれば、浜島へメールで問い合わせてください。

以上

不動産学卒業演習について （前島先生）

I. 本演習の目的

「不動産学卒業演習」は4年次の必修科目であり、不動産学部の学生としての総仕上げの科目に位置付けられます。本演習の目的は、大学卒かつ不動産学部の卒業生として、最低限知っておかなければならない教養や不動産に関する基礎知識およびその活用能力が身についているかを確認し、身につけていなければ再度復習しながら知識を整理し、マスターすることです。

II. 履修の注意点

1. 「不動産学卒業演習」は必修科目です。単位を修得しなければ卒業できません。
2. 入学年により、通年科目（4単位）と後期科目（2単位）があります。
 - 前期はレポート作成等の課題に、後期は複数の実務的な演習に取り組みます。
 - 通年科目では、前期後期それぞれの課題に合格する必要があります。
3. 初回ガイダンスに必ず出席の上、履修の仕方を十分に理解すること。ほぼ毎回到渡って演習を行うため、欠席遅刻は、単位修得を非常に困難にすることに注意すること。
4. 宅建士試験に合格していない場合、本年度の本試験合格あるいは学内試験で合格相当の学力が認められることで、受講要件を満たすものと判断します。つまり、本試験不合格あるいは学内試験で合格相当の学力が認められない場合、単位は修得できません。
5. 宅建士試験に未合格の学生が、本年度の本試験を受験しない場合、受講資格を認めません。
6. この科目に関わる重要なお知らせは、卒業演習掲示板（第2管理研究棟4階学生ホール横）に掲示します。常にこの掲示板の情報に注意をはらうこと。

III. 授業準備

1. これまでの教科書、参考図書、ノート、プリントなどを授業ごとに整理する。
2. 自己学修で理解できていないことは担当教員のオフィスアワー等を利用して指導を受ける。

詳しくは、前期不動産学卒業演習の初回授業で説明します。ガイダンス資料を熟読し、不明な点は授業支援システム（manaba）、メール等で早めに解決しましょう。

問合せ先：科目担当（藤木 fujiki@meikai.ac.jp, 前島 mae4@meikai.ac.jp）またはゼミ担当教員

※なお、卒業要件となる単位数・科目区分を「履修の手引き」等で必ず確認すること。

また、単位修得にあたっては、124単位ギリギリではなく、余裕を持って履修すること。

（例年、就職が決まっていながら、後2単位足りないために卒業できない学生、124単位以上修得しながら科目区分の要件を満たさないために卒業できない学生がいます。）

2020 年度「卒業論文」 (浜島先生)

1. 「卒業論文」の開講目的

「卒業論文」は4年間学んだ知識や技能の集大成として論文を作成し、「卒業論文発表会」で教員・学生の前で発表するスタイルで行われます。なお、これまで不動産学部で学んだことの総仕上げですから、指導教員の先生とよく相談し、テーマを選択し、自ら学び取る姿勢が求められます。なお、卒業設計を行うものは設計コンセプトや提案などを説明した「卒業論文(卒業設計)」を代わりに作成・発表することができます。これまでの科目とは違い、卒業論文では積極的な受講態度が求められます。

2. 履修上の注意

- ①全コースの4年生を対象とした、選択科目です。論文執筆を希望する学生のみ履修登録をしてください。
- ②必ず、指導を希望する教員と相談してから履修をするかしないかを決めてください。

3. 履修登録の仕方

- ①通常は、「不動産学研究」の担当教員が指導教員となります。別の教員の指導を希望する場合は、「不動産学研究」指導教員および「卒業論文」の指導を希望する教員とよく相談の上、希望する教員の「卒業論文」を履修することができます。
- ②3年次の「不動産学研究」の成績がA以上であることが履修要件です。ただし、指導教員は、その判断によって、それ以外の学生の履修を認めることもできます。
- ③5月17日(金)までに、「不動産学研究」の指導教員と相談し、「卒業論文計画書」を作成の上、指導教員に提出してください。卒業論文計画書が期日までに提出されない場合は、履修登録が認められません。
- ④履修登録は、Web履修登録(本登録)期間内にパソコンを使ったWeb履修登録で行います。これをもって、正規の履修登録とします。

※指導教員の許可なくして履修登録をした場合、その履修登録は無効となります。

4. 単位の修得要件

卒業論文は、論文として執筆し提出するだけでなく、2021年1月末に行われる発表会で発表しなければなりません。期日までに卒業論文を提出し、発表会で発表しない場合は、6単位を修得することができなくなります。

5. その他

詳細については、2020年度開始後、改めて通知します。

不動産学部宅建合格支援プログラム (中村先生)

オープンカレッジ宅建講座 (在学生優遇措置)

※例年、オープンカレッジでの指導を行っておりますが、Covid-19 の影響により開講の可否については検討中です。詳細は、別途連絡いたします。参考として昨年までの内容について記します。

浦安キャンパス内で開講される「オープンカレッジ宅建講座」は、キャンパス内のダブルスクールで、宅建合格への力強い援軍です。

本試験前日まで、みっちり、かつ、効果的に学習します。

不動産取引演習 A・B・C の担当講師をはじめ、経験豊かで人間性に優れた講師陣が丁寧に指導します。

これまでの合格者のほとんどは、このオープンカレッジを受講しています。

費用:「パーフェクトコース」65,000 円+教材費(2冊)5,830 円がオススメです。

【宅建】夏季特別講座 ※2020 年度は中止

前学期の定期試験終了後に 2 日間、浦安キャンパス内で実施します。

希望者は誰でも受講することが可能で、無料です。

【宅建】夏セミナー ※2020 年度は中止

8 月中に夏セミナー(学内)を実施します(お盆前後に各 4 日程度を予定しています)。詳細は 4 月以降発表します。

資格取得奨励奨学金制度

学内にあるオープンカレッジで「宅地建物取引士講座」を受講し、宅建士の国家試験に合格した者に対し、奨学金を給付します。

単位認定制度

宅建試験に合格すると、認定申請により、最大 12 単位が認定されます。

宅建合格者に対する就職支援

不動産学部では、宅建試験合格者リストを作成し、就職希望者に対して積極的に就職先を紹介しています。

これまで、宅建合格者の就職率は 100%です。

令和2年度試験のスケジュール（予定）

インターネット申込み 7月1日(水)9時30分～7月15日(水)21時59分

郵送申込み 7月1日(水)から7月31日(金)まで

郵送申込み書類は、不動産学部で配布します。

※申込みは学生が自分で行ってください。

受験手数料 7,000円

試験日時 10月18日(日)午後1時から3時まで(2時間)

合格発表 12月2日(水)

スチューデントルーム (中村先生)

場所：第2管理・研究棟4階

目的：①宅建をはじめとする資格取得を目指す学生のための自習室

②担当教員から直接の指導を受けられる部屋

使用方法

- ・ほかの学生の迷惑にならないように静かに勉強しましょう。
- ・ごみは自分で片づけましょう。
- ・ドアは開けておきましょう。

注意

スチューデントルームが満員との時、隣のゼミ室が開いている場合に限り、使用することができます。

※COVID-19 感染拡大防止のため、当面の間、スチューデントルームでの指導は行いません。

建築士試験受験のための指定科目の履修上の注意 (前島先生)

建築士試験のための指定科目を、所定の単位数修得することで建築士試験の受験資格や、実務要件の軽減を受けることができます。どの科目が指定科目なのか、どの曜日に開講しているのかを確認して、積極的に高レベルの受験資格を目指しましょう。建築士試験の受験のために必要な単位は、「履修の手引き」の「建築士取得に係る指定科目一覧」の項に詳しく説明されています。設計製図の授業を2～3つ（6単位）以上とらないと、二級建築士受験資格がないので、最低限の目安になるでしょう。どの科目を選択するか判断は複雑なので担当教員に相談してください。

指定科目には10に分類されます。以下の時間割表（別途配布）では分類に対応する記号を付けていますが、入学年度により分類が変わる場合があります。「履修の手引き」で確認するとともに、不明な点は担当教員に問い合わせください。

[図] - 建築設計製図	[計] - 建築計画	[環] - 建築環境工学
[備] - 建築設備	[力] - 構造力学	[構] - 建築一般構造
[材] - 建築材料	[産] - 建築生産	[法] - 建築法規
[他] - その他		

2年次は、後期から本格的に、建築士のための勉強が始まります。1年次の必修科目がまだ終わっていない人は、確実に2年次までに終わらせましょう。

3年次は、指定科目が多く開講されます。受講要件など、事前に勉強しておくべき科目がないか、しっかり確認しましょう。場合によっては、4年次に受講する計画を立てておくことも考えられます。ただし、後がなくなるといけないですから、二級建築士のために最低限必要な科目は3年次までに終わらせましょう。

4年次は最後の機会ですから、必要な分類の科目をよく確かめ指定科目を履修しましょう。

受講上の注意

指定科目の教科書を購入する場合は、必ず初回の授業で購入すべき教科書を確認するようにしてください。

2015年度以前の入学者への注意

ここに示す時間割は、2016年度以降入学者の科目名で示しています。時間割をよく確認すること。

2 年（2016 年度以降入学）の指定科目時間割表

（太字は 2 年次開講）

前 期		月	火	水	木	金
	1	建築一般構造 論（再） <u>〔構〕</u>				
	2			都市計画 <u>〔他〕</u>		
	3				デザインの基礎 演習 <u>〔図〕</u>	
	4	建築 C A D 演 習 <u>〔図〕</u>			デザインの基礎 演習 <u>〔図〕</u>	
	5					

後 期		月	火	水	木	金
	1			ハウジング論 <u>〔他〕</u>		
	2			住宅計画 <u>〔計〕</u>		
	3					
	4			都市と建築の基 本法 <u>〔法〕</u>		住宅地計画実習 <u>〔図〕</u>
	5	都市計画の基 礎(再) <u>〔計〕</u>		建築史 <u>〔計〕</u>		住宅地計画実習 <u>〔図〕</u>

3 年の指定科目時間割

(太字は 3 年次開講)

前 期		月	火	水	木	金
	1	まちづくり演習 [他] 建築一般構造論 (再) [構]		都市開発と社会基盤 [他]	設計製図 A [図]	建築環境計画 [環]
	2	まちづくり演習 [他]		都市計画 [他]	設計製図 A [図]	
	3	集合住宅管理論 [他]		不動産経営計画 [他]	構造力学Ⅰ [力] デザインの基礎演習 [図]	建築材料学 [材]
	4	建築 C A D 演習 [図]			デザインの基礎演習 [図]	
	5			建築計画 [計]		

後 期		月	火	水	木	金
	1	建築設備 [備]		ハウジング論 [他] 不動産管理演習 [他]	環境法 [他]	材料学実験 [材]
	2			住宅計画 [計] 不動産管理演習 [他]	建築環境デザイン [環]	材料学実験 [材]
	3	建築構造計画 [構]		インテリアデザイン演習 [他]	構造力学Ⅱ [力]	
	4			都市と建築の基本法 [法]		住宅地計画実習 [図]
	5	都市計画の基礎 (再) [計]	都市環境と防災 [他]	建築史 [計]		住宅地計画実習 [図]

4 年の指定科目時間割

(太字は 4 年次開講)

前 期		月	火	水	木	金
	1	まちづくり演習 [他] 建築一般構造論 (再) [構]		都市開発と社会基盤 [他]	設計製図 A [図]	建築環境計画 [環]
	2	まちづくり演習 [他]		都市計画 [他]	設計製図 A [図]	
	3	集合住宅管理論 [他]		不動産経営計画 [他]	構造力学 I [力] デザインの基礎演習 [図]	建築材料学 [材]
	4	建築 C A D 演習 [図]		設計製図 B [図]	デザインの基礎演習 [図]	
	5	建築生産 [産]		建築計画 [計] 設計製図 B [図]		

後 期		月	火	水	木	金
	1	建築設備 [備]		ハウジング論 [他] 不動産管理演習 [他]	環境法 [他]	材料学実験 [材]
	2			住宅計画 [計] 不動産管理演習 [他]	建築環境デザイン [環]	材料学実験 [材]
	3	建築構造計画 [構]		インテリアデザイン演習 [他]	構造力学 II [力]	
	4			都市と建築の基本法 [法]		住宅地計画実習 [図]
	5	都市計画の基礎 (再) [計]	都市環境と防災 [他]	建築史 [計]		住宅地計画実習 [図]

宅建合格者の皆さんへ

2020年度前期 「不動産特別講義Ⅰ」 月曜日2時限

担当 周藤利一（すとうとしかず）4511 研究室

※ 教室は別途連絡します。

※ 時間割表では、1年次となっていますが、
2年生以上も受講可能です。

※講義のポイント

- ・ 宅建の受験勉強で得た知識を完璧なものにする。
- ・ 就職して実際に役立つ不動産の知識を修得する。

※定期試験はありません。

講義に対する貢献度で評価します。

2020年度前期「不動産特別講義Ⅱ」を開講します

水曜日 5 限目、2407 講義室

〈講座の目的〉

1. 不動産の鑑定評価について、基礎知識を習得する。
2. 国家資格である不動産鑑定士短答式試験の合格を最終的な目標とする。

〈対象学生〉

受講資格は特に設けない。不動産の鑑定評価について興味を持ち、学習意欲のある学生はだれでも受講可能。1年生から受講できます！

なかでも。。。

1. 不動産学部に入學したからには、不動産関連資格の最高峰といわれている不動産鑑定士を目指したい学生
2. 宅建士試験合格の次のステップとして、不動産鑑定士短答式試験の受験を予定している学生

上記の学生は特に歓迎します。

〈担当講師〉

竹迫 守夫（たけさこもりお） 4504 研究室

〈コメント〉

不動産鑑定士試験の指導歴（本学研究センターでの指導含む）20年以上のノウハウと、現役の不動産鑑定士としての豊富な実務経験を活かして、鑑定評価理論の全体構造から分かりやすく指導します。

講義中、適宜不動産鑑定士短答式試験のガイダンス、受験準備の相談などにも対応します。

海外短期研修制度の案内 (周藤先生・表先生)

本学部では、勉強の視野を国際舞台に広げながらグローバルな感覚や知見を深化させ、本校が目指す国際社会で活躍しうる人材になるきっかけを提供する目的で海外短期研修を提供しています。

海外短期研修の対象国は**イギリス、韓国、中国**があり、2019年度は9月上旬にイギリスのケンブリッジ大学（14名参加、一人当たりの経費：533,633円）に10日間と韓国の建国大学校（5名参加、一人当たりの経費：181,840円）に7日間、短期研修を実施しました。短期海外研修の人気は高く多数の学生が応募するので毎年、選抜を行っています。

海外研修生には、「**奨学海外研修派遣学生（費用の全額を大学が負担）**」と「**海外派遣留学生（費用の一部を自己負担）**」の2種類があります。

（1）奨学海外研修派遣学生

- 学部の選考基準に基づき推薦された後、ケンブリッジ大学4名程度、韓国5名程度が選抜されます。（予定）
- 研修費用については**全額**を大学が負担します。（予定）

（2）海外派遣留学生

- 前年度のGPAが2.0以上の者は誰でも応募することが可能ですが、募集人数を超えた場合は選抜があります。
- ~~応募時期は、ケンブリッジ研修が4月下旬から5月上旬、韓国研修も同様の期間を予定しています。~~
- 研修費用については**3分の1程度**を大学が補助します。（予定）
- 注意：今年度のケンブリッジへの研修は新型コロナの影響で残念ながら中止となりました。韓国研修の場合は、事態が好転すれば実施時期を変更し2021年3月春休み期間中に実施します。その場合、ケンブリッジ研修分の予算も活用して参加人数を大幅に増員する予定です。

（3）研修後、体験記の執筆、報告会を行います。

（4）イギリス研修に関する質問は、周藤（4511研究室）、
韓国研修に関する質問は、表（4606研究室）にお願いします。

2019 年度イギリスケンブリッジ大学研修の概要

2019 年度は「ヨーロッパの不動産市場と都市再生」というテーマで研修を行いました。ケンブリッジ・エマニュエル・カレッジに宿泊し、講義を受け、ケンブリッジやその周辺を見学しました。さらにロンドンとその郊外に移動し、講義を受け、不動産開発の現場を見学し、有益な成果を得ることができました。短期間ではありましたが、日本とイギリスの不動産市場、不動産開発を対比することができ、イギリスの生活を通じてイギリスの生活や文化に触れるよい機会になりました。



授業風景



パンティング(川くだり)

2019 年度韓国研修の概要

2019 年度は 15 回目で計 5 名の学生が、姉妹校である釜山外国語大学校、建国大学校を訪問し、講義参加及び交流会などを行いました。研修期間中、釜山、ソウルなどを訪問し、韓国の不動産事情や文化を学びました。特に訪問先大学の学生との交流会などを通じて日本と韓国の同年齢の若い学生たちが直接会って語り合いながら交流を深めることの意義は大きいと思います。交流は非常に短い時間でありましたが、お互いに親しくなり LINE アドレスの交換や今後も交流を続けたいと話し合う姿を見て研修の意義を再三認識しました。



韓国マンションのモデルハウス見学



韓国学生との交流会後の記念撮影

**既にスタートした就職活動は順調ですか？
5月までの短期決戦、乗り遅れは禁物です。**

既に就職活動をスタートしたことと思います。予定どおり進んでいる人は、今後早ければ6月1日あるいはそれ以前に企業から内々定を受けることとなります。

1. 今後、内々定を受けた方へ

内々定を受けた方は、必ず、キャリアサポートセンターへ内々定を受けた旨の届出をしてください。所定の届出用紙に記入して提出することになります。（センターは管理棟2階にあります）

卒業要件である「卒業演習」を確実にクリアさせてください。また、単位のとりこぼしの無いように、履修申請時にギリギリの単位取得をしないように、少し多めに履修するなど、よく確認をしてください（昨年度、卒業単位ギリギリで落としてしまい、留年した学生が多くいます）。

卒業の3月31日まで、法ルールを守り、事故の無いように過ごしてください。

2. 7月に入っても内々定を受けていない場合

今後、企業へ訪問し、選考に落ちる経験もすることと思います。7月に入っても内々定を得られない場合は、直ちに学内でカウンセリングを受けてください。必ず原因がありますが、自分自身では気付かないことがほとんどです。

キャリアサポートセンターの就活コーチ、学部の就職担当教員に相談をして、よりよい方向を探ってみましょう。7月に限らず、直ぐにでもキャリア専門のスタッフや教員からのカウンセリングを直ちに受けて、改善をしてください。

学部のキャリア担当教員は、キャリアサポートセンターと連携して、みなさんが内定を獲得するまで支え続けます。困ったとき、悩んだとき、相談にきてください。

3. 悩まない、活動をやめない

相談しないで自分自身で悩んだり、落ち込んだりしても、具体的な解決にはなかなか結びつきません。素直に相談をして、客観的に観てもらうことが重要です。こういう時に大人のふりをしてはいけません。

活動をやめてしまうと、再開することに多くの労力と苦勞を要します。継続して第2ラウンドを戦いましょう。梅雨に入り、夏の声が聞こえてくると、体力的にも精神的にも辛くなってしまいます。

早め早めの対応が大事です！！

□ 就職に関する情報・質問 ➡ キャリアサポートセンター

<http://meikai-career.jp> 047-355-5118（ダイヤルイン）

career@meikai.ac.jp

就職に関する質問は、山本卓教授（4612 研究室）まで

インターンシップについて （前島先生）

就労体験型 と 選考型

- ・ 本来は、就労体験（5日以上）
- ・ 近年は、就職活動の選考と結びついたものが増えている（1 day、2days、短期間が多い）

メリット

- ・ 実社会を経験し、社会人としての心構えを身に着ける。
- ・ 卒業後の進路選択についての示唆を得る。
- ・ より明確な目的意識をもって不動産学を学ぶ。
- ・ 3年生（選考型）：志望企業の雰囲気を知れる。人事担当者や志望学生との繋がりができる。

不動産学部主催インターンシップについて

本学では、夏季と春季の休暇期間に就労体験型（5～10日）のインターンシップを実施しています。

「浦安キャンパス総合教育センター主催（全学共通）」と「不動産学部主催」があります。

スケジュール、事前の研修、提出物など共通する部分もありますが、不動産関連企業への派遣は不動産学部主催に限られます。不動産流通業や不動産管理業以外に、個人での応募機会が限られる土地家屋調査士事務所、不動産鑑定事務所、地方自治体への派遣実績があります。

応募対象	不動産学部の2年生及び1年生 ※3年生の夏休みからは、多くの企業が選考型インターンの募集をしていることから、その前の時期を主な対象に考えています。状況に応じて、3・4年生も応募可能です。 ※宅建士試験を優先してください。
応募期間	5月（夏季）と11月（春季）の年2回 ※応募開始初日のガイダンスに参加してください。
単位認定	インターンシップA～D（各2単位） ※企業での就労以外に、履歴書講習、事前研修会、報告会への参加および報告書類、体験記の提出が必要です。
注意事項	・ 原則食事や通勤（車での通勤は不可）にかかる費用は学生負担です。 ・ 報酬はありません。 ・ 選考が始まってからの辞退は、原則認められません。

2021 年度 不動産学研究科（博士前期課程）学内推薦応募要綱（斎藤先生）

1. 学内推薦者

学内推薦者は、不動産学研究科（博士前期課程）の 2021 年度入学試験 A 日程の入学試験において、筆記試験および面接試験を免除される。ただし A 日程の出願期間に出願手続きを行わない場合、推薦は無効となる。

2. 応募資格

現在明海大学不動産学部 4 年生に在籍し、2021 年 3 月卒業見込みのもので、学業成績が優秀な者。

3. 必要書類

- 1) 申込書（所定用紙を使用）
- 2) 研究計画書（所定用紙を使用）
- 3) 成績証明書（最新のもの）

4. 申込期間 5 月 27 日（水）～6 月 12 日（金）

5. 申込方法

必要書類を同封し明海大学不動産学研究科長宛に簡易書留で郵送すること。
（6 月 12 日（金）当日消印有効）

郵送先： 〒279-8550 千葉県浦安市明海 1 丁目
明海大学不動産学研究科長 中城康彦 宛

6. 学内推薦者の選考

学内推薦者の選考は第 1 次選考と第 2 次選考からなる。

第 1 次選考は書類審査により行う。

第 2 次選考は、第 1 次選考の合格者に対して実施し、書類審査に加えて面接審査（研究計画書、専門知識、勉学意欲など）により行い、学内推薦者若干名を決定する。

7. 日程

- | | |
|------------------------|------------------------|
| (1) 学内推薦入学試験説明会 | 5 月 26 日（火）Web で配信 |
| (2) 申込期限（郵送・当日消印有効） | 6 月 12 日（金） |
| (3) 第 1 次選考（書類審査）合格者発表 | 6 月 19 日（金） |
| (4) 第 2 次選考（面接審査） | 6 月 23 日（火）12：15～12：50 |
| (5) 学内推薦者発表 | 7 月 3 日（金） |

資格外労働の注意 (山本先生)

- 在留資格「留学」で在籍する学生は、大学で教育を受けるという活動に対して、日本に滞在することが許可されているのであって、収入や報酬を伴う活動を行うことは認められていない。したがって、アルバイトを行う必要が生じた場合には、あらかじめ「資格外活動」の許可を受ける必要がある。

- ・ 勉学の妨げにならない範囲でのみ、1 週 28 時間まで許可される。

- ・ 長期休暇期間（夏季休暇、冬季休暇、春期休暇）に限っては、1 日 8 時間まで認められる。

※なお、風俗営業や風俗関連営業（パチンコ店、マージャン店、ゲームセンターなど）が行われている場所でのアルバイトは禁じられている。（たとえ、皿洗いや清掃などでも禁止）

- 制限時間を超えたアルバイト、禁止された場所でのアルバイトをした場合には、国外退去等の処分を受ける場合もある。

<参考：出入国管理及び難民認定法施行規則>

第 19 条

5 法（「出入国管理及び難民認定法」）第 19 条第 2 項の規定により条件を付して新たに許可する活動の内容は、次の各号のいずれかによるものとする。

一 1 週について 28 時間以内（留学の在留資格をもって在留する者については、在籍する教育機関が学則で定める長期休業期間にあるときは、1 日について 8 時間以内）の収入を伴う事業を運営する活動又は報酬を受ける活動（風俗営業若しくは店舗型性風俗特殊営業が営まれている営業所において行うもの又は無店舗型性風俗特殊営業、映像送信型性風俗特殊営業、店舗型電話異性紹介営業若しくは無店舗型電話異性紹介営業に従事するものを除き、留学の在留資格をもつて在留する者については教育機関に在籍している間に行うものに限る。）

二 前号に掲げるもののほか、地方入国管理局長が、資格外活動の許可に係る活動を行う本邦の公私の機関の名称及び所在地、業務内容その他の事項を定めて個々に指定する活動

